



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 エア・ウォーター株式会社 上場取引所 東・大・札
 コード番号 4088 URL <http://www.awi.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)青木 弘
 問合せ先責任者 (役職名)広報・IR室長 (氏名)岸 貞行 TEL(06)6252-3966
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	361,119	3.9	21,666	△4.8	23,281	△2.6	12,339	1.2
23年3月期第3四半期	347,435	11.6	22,767	15.3	23,902	19.3	12,191	22.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 9,454百万円(△18.1%) 23年3月期第3四半期 11,544百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	64 32	63 16
23年3月期第3四半期	63 96	62 30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	416,714	173,115	38.7
23年3月期	407,639	169,126	38.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 161,476百万円 23年3月期 157,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11 00	—	11 00	22 00
24年3月期	—	11 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11 00	22 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	6.0	32,000	2.3	33,500	1.6	17,500	49.8	91 20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規—社 (社名)、 除外—社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	196,205,057株	23年3月期	196,205,057株
24年3月期3Q	4,204,208株	23年3月期	4,445,373株
24年3月期3Q	191,838,814株	23年3月期3Q	190,606,935株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①連結経営成績に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、東日本大震災の影響による一時的な落ち込みから、一旦は順調な回復基調を示したものの、海外経済の減速や歴史的な円高、さらに第3四半期にはタイの洪水による影響が加わり、輸出関連産業を中心に国内製造業の生産活動は再び厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループは、事業カンパニーならびに事業会社において、それぞれの環境変化に対応しながら収益改善に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,611億1千9百万円（前年同期比103.9%）、営業利益は216億6千6百万円（同95.2%）、経常利益は232億8千1百万円（同97.4%）、四半期純利益は123億3千9百万円（同101.2%）となりました。

②当期の連結セグメント別業績

(単位：百万円)

	売上高		経常利益	
	当第3四半期	前年同期比	当第3四半期	前年同期比
産業ガス関連事業	100,374	102.5%	8,769	89.8%
エレクトロニクス関連事業	35,984	99.0%	3,129	114.0%
ケミカル関連事業	58,085	96.5%	2,424	95.8%
医療関連事業	51,051	109.6%	2,950	113.5%
エネルギー関連事業	33,246	106.0%	1,359	95.0%
その他の事業	82,376	109.7%	4,757	106.3%
(調整額)	—	—	△109	—
合計	361,119	103.9%	23,281	97.4%

(注) 経常利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

産業ガス関連事業は、鉄鋼オンサイトが震災影響から持ち直し増加基調にあったところへ、タイの洪水や円高など輸出環境の変調を受け、ガス供給量が伸び悩みました。国内需要が回復に転じた自動車向け、並びに内需、輸出とも好調な建機向けは、順調に推移いたしました。また、地域ビジネスにおいては、地域差があるものの、震災復旧に関連した土木・建設需要の増加を背景に、シリンダービジネスが堅調に推移いたしました。しかしながら、電力料金の上昇等、コスト・費用の面では厳しい状況となりました。

エレクトロニクス関連事業は、バルクガス供給が前年並みの水準を維持し堅調に推移いたしました。機器工事は、独自開発のPFC回収精製装置の海外向け受注に成功いたしました。情報電子材料は、震災並びにタイの洪水影響を受け主要顧客の稼働が低下し、厳しい状況で推移いたしました。

ケミカル関連事業は、震災の影響によりガス精製並びに基礎化学品の販売が減少し、厳しい状況で推移いたしました。タール蒸留事業の(株)シーケムは、主力の電炉用電極向けニードルコークスの需要に停滞感があるものの、ナフタリン、フタル酸などの化学品の市況が底堅く堅調に推移いたしました。

医療関連事業は、医療用酸素が震災によって供給先の閉院が発生したものの、グループを上げて被災地への安定供給に努め、また、新規取引病院の獲得による拡大と物流合理化により震災影響を最小限に抑えました。医療機器は、新生児・小児用人工呼吸器及び循環器系医療機器の拡販、さらに新生児肺高血圧症の治療向けの一酸化窒素製剤「アイノフロー」が症例数増加により順調に推移いたしました。病院設備工事は、大型病院設備工事の受注及び手術室・ICU設備工事分野において、独自のビジネスモデルによる高付加価値商品・提案を推進し、好調に推移いたしました。

エネルギー関連事業は、被災した大口顧客への供給中断、さらに家庭での使い控えも加わり、既存顧客の消費量は減少いたしました。しかしながら、家庭用ではハイブリッド給湯暖房システムの拡販、また工業用では燃料転換の促進によって新規顧客を開拓、結果、前年並みの販売数量を確保いたしました。

海水事業のうちマグネシア事業は、海外電力インフラ需要に支えられ電磁鋼板用マグネシアが高水準の生産を続け、順調に推移いたしました。塩事業は、被災した小名浜工場の生産ラインが依然として操業を停止しておりますが、赤穂工場並びに讃岐工場における緊急増産等により安定供給に努めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産の増加などにより前連結会計年度末に比べて90億7千5百万円増加し、4,167億1千4百万円となりました。負債は流動負債の増加などにより前連結会計年度末に比べて50億8千5百万円増加し、2,435億9千8百万円となりました。純資産は、株主資本の増加などにより前連結会計年度末に比べて39億8千9百万円増加し、1,731億1千5百万円となりました。

なお、1株当たり純資産は前連結会計年度末の822.05円から841.02円となりましたが、総資産残高の増加に伴い自己資本比率は前連結会計年度末と同様の38.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

足元の事業環境は、欧州債務問題の悪化がもたらしている世界的な経済減速と、さらには円相場の高止まりなどから、輸出関連を中心に国内生産活動の動静には予断を許さない状況が続いており、産業ガス、エレクトロニクス、ケミカルの産業系ビジネスは、当初の想定より一段と厳しい見方が必要となっております。こうした中、グループ全事業にわたって徹底したコスト削減に努めるとともに、「ねずみの集団経営」の強みを発揮し、得意分野、成長分野で着実な成長を図ってまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,658	19,889
受取手形及び売掛金	99,292	105,686
商品及び製品	15,065	15,921
仕掛品	4,119	5,099
原材料及び貯蔵品	6,603	7,548
その他	15,322	16,205
貸倒引当金	△1,646	△1,672
流動資産合計	157,415	168,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,043	39,044
機械装置及び運搬具（純額）	60,256	59,476
土地	47,108	47,682
その他（純額）	32,174	30,281
有形固定資産合計	177,583	176,485
無形固定資産		
のれん	12,487	11,627
その他	1,774	1,829
無形固定資産合計	14,261	13,456
投資その他の資産		
投資有価証券	36,987	34,821
その他	22,741	24,566
貸倒引当金	△1,350	△1,295
投資その他の資産合計	58,378	58,092
固定資産合計	250,223	248,034
資産合計	407,639	416,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,072	74,848
短期借入金	35,272	45,651
1年内償還予定の社債	45	38
1年内償還予定の新株予約権付社債	4,000	4,000
未払法人税等	6,769	4,079
課徴金引当金	3,639	—
災害損失引当金	555	426
その他の引当金	232	71
その他	24,596	23,790
流動負債合計	139,183	152,905
固定負債		
社債	10,133	10,114
長期借入金	54,840	51,293
退職給付引当金	8,715	7,401
その他の引当金	990	818
その他	24,650	21,064
固定負債合計	99,329	90,692
負債合計	238,512	243,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,013	31,013
資本剰余金	33,183	33,168
利益剰余金	103,883	111,425
自己株式	△4,469	△4,225
株主資本合計	163,611	171,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,073	△786
繰延ヘッジ損益	△253	△396
土地再評価差額金	△8,921	△8,846
為替換算調整勘定	126	123
その他の包括利益累計額合計	△5,975	△9,906
新株予約権	219	240
少数株主持分	11,271	11,399
純資産合計	169,126	173,115
負債純資産合計	407,639	416,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	347,435	361,119
売上原価	264,161	279,040
売上総利益	83,273	82,078
販売費及び一般管理費	60,506	60,412
営業利益	22,767	21,666
営業外収益		
受取利息	211	198
受取配当金	572	490
持分法による投資利益	1,016	1,324
その他	1,508	1,530
営業外収益合計	3,307	3,544
営業外費用		
支払利息	1,311	1,205
設備賃貸費用	475	505
その他	384	217
営業外費用合計	2,172	1,928
経常利益	23,902	23,281
特別利益		
固定資産売却益	55	79
退職給付信託設定益	—	2,742
その他	135	345
特別利益合計	190	3,167
特別損失		
固定資産除売却損	517	443
減損損失	570	2
災害による損失	—	1,745
その他	207	663
特別損失合計	1,295	2,854
税金等調整前四半期純利益	22,798	23,594
法人税等	9,629	10,246
少数株主損益調整前四半期純利益	13,169	13,347
少数株主利益	977	1,007
四半期純利益	12,191	12,339

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,169	13,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,383	△3,874
繰延ヘッジ損益	△219	△162
土地再評価差額金	△2	155
為替換算調整勘定	△27	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	8	△8
その他の包括利益合計	△1,624	△3,893
四半期包括利益	11,544	9,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,618	8,489
少数株主に係る四半期包括利益	926	964

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	エレクト ロニクス 関連事業	ケミカ ル 関 連事業	医療関連 事業	エネルギ ー関連 事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	97,884	36,350	60,172	46,558	31,351	75,116	347,435	—	347,435
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,374	203	9	231	696	11,724	18,239	(18,239)	—
計	103,258	36,554	60,182	46,790	32,048	86,841	365,674	(18,239)	347,435
セグメント利益	9,769	2,743	2,532	2,598	1,431	4,476	23,551	350	23,902

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	エレクト ロニクス 関連事業	ケミカ ル 関 連事業	医療関連 事業	エネルギ ー関連 事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	100,374	35,984	58,085	51,051	33,246	82,376	361,119	—	361,119
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,538	612	35	198	614	11,933	16,932	(16,932)	—
計	103,913	36,597	58,120	51,250	33,860	94,309	378,051	(16,932)	361,119
セグメント利益	8,769	3,129	2,424	2,950	1,359	4,757	23,391	(109)	23,281

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。